

「仏教ソーシャルワークの探求」に新たな2冊



昨年、英語で出版されたベトナムの報告を土台にしなが、ロアン先生を中心としたベトナム現地の執筆者との確認及び編集作業を終えて、ようやく日本語版が発行されました。仏教寺院の諸活動を「慈善事業から仏教ソーシャルワークへ」とその展開を丁寧に追跡していく一冊です。ベトナム研究に当初から関わった当研究所のリサーチフェローの菊池結研究員が編者を務めて、日本の読者にとってわかりやすい形に仕上げました。ぜひともご一読ください。

続いて3月末に出版されたのは、タイの報告(英語版)です。実践と研究の両側面を持ち合わせたソパ先生とスラカイ先生の二人の現地の執筆者に、当研究所の安藤プログラム研究員が加わり、量的調査を中心にタイの仏教ソーシャルワークの現状に焦点を当てて論じました。タイの社会福祉そのもののルーツを成している一要素として仏教ソーシャルワークを位置付けて、松蔭祐子教授が編者を務めました。英語版は先行して発行されました。日本語版も待ち遠しいです。

本刊行物に関心のおありの方は研究所までお問合せください。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。